

2026.8.20

ぐんま森林経営管理サポートセンターによる県内各市町村訪問、記念すべき第1回は長野原町役場へ。

役場担当者さんお二人ともこの4月からということで、森林経営管理制度概要やこれまでの意向調査実施状況、地形条件や森林所有規模の町内南北格差等を確認しました。

サポートセンターの機能や役割をお伝えすると、手探り状態だったので本当に心強い、と嬉しいお言葉をいただきました。

また、サポートセンターの発足について地方紙で報道されたことにより、その業務や活用について森林所有者から問い合わせが役場にあったとのことで、次回訪問以降で所有者を含めた今後の森林経営管理に関する意見交換会実施等、早速の展開が相互にイメージでき、幸先のよいスタートを切れました。

また、今回の訪問には初日ということで、管轄する県吾妻環境森林事務所からも所長以下3名の職員に同席いただき顔を繋いでいただくとともに、この他の事業も含めた林政全般の中に経営管理制度を落としこんでいくこと等も確認できました。



ぐんま森林経営管理サポートセンターの市町村訪問は、午前の長野原町に続き
午後は中之条町役場へ。

中之条町は森林経営管理制度開始以降、
計画的に意向調査を実施されており、意向
調査結果をふまえた経営管理権集積計画策
定と、経営管理実施権配分計画の実行によ
り、すでに数ヶ所の素材生産を伴う森林整備
実績を残されており、県内においてはトップ
クラスの進捗状況にあります。

担当者様が業務経験を積まれるなかで、
森林経営計画策定と管理にかかるノウハウ
も習得されていますが、経営管理制度を進
められると、進めたなりの課題も生じているといえことで、課題解決に向けて意見
交換させていただきました。

